

金賞 片野登士晃君

北海道札幌工業高等学校建築科 吹き抜ける空間～光・風・森・人・時間～

キーワードが3つある。「明るいプラットホーム」、「形状は木々や山々をイメージ」、「建物自身が自然の一部」。これらを頭に入れて作品を見ると1Fの展示室が道路で分断されていたり、パースでは広場に木がなかったり、多少の問題はあるにしろ作品としては大変考えられていて力作である。公共的な建物は特に交通施設はどこの建物を見ても味気ない。スピードが要求されメタリックになりがちな感覚はわからないでもないが、だからここのような駅が必要なのではないだろうか。その信念を評価し金とした。

(文責：中山 眞琴)

